



SMA Solar Technology AG プレスリリース

SMA グループ 2023 年は非常に好調

- グループの売上高は約 79%増の 19 億 410 万ユーロ (日本円約 3,103 億円)
- EBITDA は 3 億 1,100 万ユーロに増加、EBITDA マージンは 16%に大幅拡大
- 全セグメントで好調な業績
- 2024 会計年度のガイダンスを確認: 売上高は 19 億 5,000 万ユーロから 22 億ユーロ、EBITDA は 2 億 2,000 万ユーロから 2 億 9,000 万ユーロ

2024 年 3 月 27 日、ニーステアール発 - SMA Solar Technology AG は、2024 年 2 月 29 日に発表された 2023 年の暫定値と 2024 年のガイダンスを確認しました。2023 会計年度の連結売上高は 78.6%増の 19 億 410 万ユーロ (日本円約 3,103 億円) (2022 年: 10 億 6,590 万ユーロ) となりました。売上総利益率は前年同期比 29.4% (2022 年: 21.0%) と大幅に増加し、特にホームソリューション事業の収益性向上が後押ししました。

EBITDA は 2022 会計年度の 7,000 万ユーロから 3 億 1,100 万ユーロへと大幅に増加しました。これは EBITDA マージン 16.3% (2022 年: 6.6%) に相当します。この好調な業績は SMA 製品に対して継続的に高い需要があることに加え、生産能力の向上とそれに伴う販売数量増加により固定費が減少したことも一因です。EBIT は 2022 年会計年度の 3,190 万ユーロから 2 億 6,950 万ユーロに増加しました。(2023 年の EBIT マージン: 14.2%、2022 の EBIT マージン: 3.0%)。

純利益は業績が好調だったことから 4 倍以上の 2 億 2,570 万ユーロ (2022 年: 5,580 万ユーロ) となりました。2023 年通期でのパワーコンディショナ出荷販売実績は 20.5GW でした (2022 年: 12.2GW)。

ネットキャッシュは 2 億 8,330 万ユーロで、前年の水準を大幅に上回り、(December 31, 2022 年 12 月 31 日: 2 億 2,010 万ユーロ)。自己資本比率は 42.3%に上昇しました (December 31, 2022 年 12 月 31 日: 41.8%)。

全部門で売上高と利益が好調

ホームソリューション部門の売上高は 73.2%増の 5 億 8,020 万ユーロとなり(2022 年: 3 億 3,500 万ユーロ)、総売上高に占める割合は 30.5%となりました (2022: 31.4%)。欧州・中東・アフリカ (EMEA) 地域は 96.9% (2022 年: 86.7%) と、引き続き売上に占める割合が最も高くなっています。米国地域は 2.0% (2022 年: 8.3%)、アジア太平洋地域は 1.1% (2022 年: 5.0%) でした。EBIT は、売上高が増加したために



固定費が減少したこと、そして収益力の高い製品ミックスにより、1億4,800万ユーロに増加しました(2022年: 5,380万ユーロ)。これはEBITマージン25.5%(2022年: 16.1%)に相当します。産業用ソリューション(C&I)部門も65.0%増の4億7,890万ユーロと大幅な売上増となりました(2022年: 2億9,030万ユーロ)。SMAグループ全体の売上高に占める割合は25.1%(2022年: 27.2%)です。地域別では、EMEA地域が80.8%、米国地域が11.7%、そしてAPAC地域が7.5%(2022年 EMEA: 79.4%、米国地域: 11.5%、APAC地域: 9.1%)を占めています。EBITは2,270万ユーロに改善し(2022年: -2,600万ユーロ)、EBITマージンは4.7%(2022年: -9.0%)となりました。

特別高圧連系・プロジェクトソリューション部門は91.8%増の8億4,500万ユーロ(2022年: 4億4,060万ユーロ)と最大の売上増を記録しました。特に、2023年第4四半期の売上高が再び大幅増となり、売上高全体に占める部門の割合は44.4%でした(2022年: 41.4%)。また部門の売上高の48.6%は米国地域(2022年: 45.3%)、10.5%はAPAC地域(2022年: 21.5%)、40.9%はEMEA地域(2022年: 33.2%)に帰属します。EBITは、売上高が増加したために固定費が減少したことと生産能力の向上により、1億380万ユーロと大幅に増加しました(2022年: -1,350万ユーロ)。EBITマージンは12.3%でした(2022年: -3.1%)。

受注残は引き続き高水準

2023年12月31日現在のSMAグループの受注残は17億500万ユーロの高水準を維持し、新型コロナ感染症拡大前の水準を上回ったものの、予想された通り、前年末の受注残を下回りました(2022年12月31日: 20億7,740万ユーロ)。2023年下半期の受注は、予想通り減少しましたが、これはホームソリューション部門と産業用ソリューション部門における2023年受注の大部分が第1四半期末までにすでに行われていたため、2023年下半期の受注は予想通り上半期と比較して減少したことが原因です。配送能力の向上と生産能力の向上により、受注残も引き続き減少しました。13億2,980万ユーロは製品事業に帰属します(2022年12月31日: 17億70万ユーロ)。

特別高圧連系・プロジェクトソリューション部門では、受注残が9億1,400万ユーロに増加し(2022年12月31日: 6億300万ユーロ)、産業用ソリューション部門が2億3,800万ユーロ、ホームソリューション部門が1億7,700万ユーロと続けました(2022年12月31日: 産業用ソリューション: 5億800万ユーロ、ホームソリューション: 5億8,900万ユーロ)。

取締役会は2024年2月29日の通期業績予想を確認しました。売上高は19億5,000万ユーロから22億2,000万ユーロ、EBITDAは2億2,000万ユーロから2億9,000万ユーロです。



追加情報

SMA は本日、監査済み連結財務諸表および 2023 年度の年次報告書を発表し、午前 10 時から年次プレスカンファレンス（バーチャル配信）、そして午後 1 時 30 分からアナリストと投資家向けのカンファレンスコールでその内容を説明する予定です。

SMAについて

SMA グループは太陽光発電および蓄電システム技術で世界を牽引しており、未来の分散型再生可能エネルギー供給を目指し、現在の規格を制定しています。SMA製品ラインには、あらゆる電力クラスの太陽光発電および蓄電システム、インテリジェントなエネルギー管理システム、電気自動車の充電ソリューション、Power-to-Gasアプリケーション向けソリューションに向けた、効率的な太陽光発電パワコン、バッテリーインバータ、総合的システムソリューションが幅広く含まれています。太陽光発電所の運用・保守サービスまで、幅広いサービスを行っているほか、デジタルエネルギーサービスを行っています。過去20年で設置された約132ギガワットの総出力を有するSMAパワーコンディショナは、年間、約7,000万トンのCO2排出の削減に貢献しています。数々の賞を獲得したSMAの技術は、1,600以上の特許や実用新案によって保護されています。2008年より、グループの親会社である SMA Solar Technology AG は、フランクフルト証券取引所の Prime Standard (S92)に上場し、MDAX指数および TecDAX指数に上場しています。

SMA Solar Technology AG

Sonnenallee 1
34266 Niestetal
Germany

Press Contact:

Dagmar Buth-Parvaresh
Tel. +49 561 9522-421414
Presse@SMA.de

Investor Relations Contact:

Viona Brandt
Tel. +49 175 93 93 320
Investor.Relations@SMA.de

免責事項:本プレスリリースは、情報を提供するためのものであり、SMA Solar Technology AG (以下「当社」という) または現在もしくは将来の当社の子会社 (当社とともに、以下「SMA グループ」という) の証券の引受、取得、保有もしくは販売のために寄付の示唆または勧誘するものではなく、また当社



もしくはSMAグループのメンバーの証券の購入もしくは引受けの契約または約束の基礎を形成するものでも、またはそれに関連して依拠されるものでもありません。改正された1933年米国証券法による登録または登録の免除がない場合、米国で証券の申し出または販売を行うことはできません。本プレスリリースには、未来指向の記述が含まれていることがあります。未来志向の記述は、過去の事実を記述したものではありません。また、これらには、当社の想定および予想に関する記述も含まれています。本資料に記載されている内容は、SMA Solar Technology AG (SMA または当社) の取締役会が現在入手可能な計画、概算および予測に基づいています。したがって、未来指向の記述は、それらが作成された日にのみ有効です。したがって、未来指向の記述は、それらが作成された日にのみ有効です。未来指向の記述には、その本質から危険性と不確実性の要素が含まれます。さまざまな既知および未知の危険性、不確実性、およびその他の要因が、実際の業績、財政状態、企業の発展または業績と、ここに記載されている概算との間に著しい差異をもたらす可能性があります。これらの要因には、SMAが発表した報告書で議論したものが含まれます。これらのレポートは、SMAのWebサイト(www.SMA.de)で入手できます。当社は、これらの未来指向の記述を更新する、または未来の出来事や発展に適応させる義務を負わないものとします。